

九州数学教育会会員 様
九州地区各教育委員長 様
九州地区各学校長 様
九州算数・数学担当者 様

主催 公益社団法人九州数学教育会
宮崎県数学教育会
後援 公益社団法人日本数学教育学会
宮崎県教育委員会
宮崎県市町村教育委員会連合会
公益財団法人日本教育公務員弘済会宮崎支部



第79回 九州数学教育会総会 並びに 九州算数・数学教育研究(宮崎)大会

開催ご案内 第2次案内(最終)

令和7年7月23日・24日・25日、宮崎市において標記の大会(略称:九数教宮崎大会)を開催いたします。

現行の学習指導要領では、予測が困難な未来社会において、様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決すること、様々な情報を見極め、知識を概念的に理解し、情報を再構成するなどして新たな価値を創造すること、また、複雑な状況変化において目的を再構築することを可能とする資質・能力の育成が目指されています。そこでは、学習内容を人生や社会の在り方と結び付けて深く理解し、生涯にわたり能動的に学び続けるようになるための学習の質の一層の向上と授業改善の活性化が求められ、その視点として「主体的・対話的で深い学び」が強調されています。しかしながら、子どもたちの実態をみると、そうした理念の実現にはまだ課題が残るといえるでしょう。

現在、宮崎県では、「“ひ”とりひとりが問いをもち、“な”かまとなって学び合い、“た”かめよう深く考える力」を意味する「ひなたの学び」を標語とし、改めて「主体的・対話的で深い学び」の実現にむけた取り組みが行われています。そこで、宮崎県で開催される本大会の研究主題を「『ひなたの学び』のある算数・数学教育」と設定し、九州各県の小・中・高等学校及び大学等の算数・数学教育に携わる教職員が一堂に会する本大会で、九州のこれからの算数・数学教育の発展にむけて建設的な議論ができることを期待しております。

つきましては、本大会の趣旨や意義をご理解の上、多くの皆様にご参加いただきますようご案内申し上げます。

九州数学教育会会長 添 田 佳 伸
宮崎大会実行委員長 木 根 主 税

1 研究主題 「ひなたの学び」のある算数・数学教育

— “ひ”とりひとりが問いをもち、“な”かまとなって学び合い、“た”かめよう深く考える力—

2 日 程

月日	時 刻	行 事		会 場
7/23 (水)	13:00～13:50 14:00～14:50 15:00～16:00 16:00～17:20 17:40～	事務局長会議(50) 九州数学教育会理事会(50) 算数・数学教育研修会(60) 九州数学教育会総会・代表委員会(80) レセプション		ニューウェルシティ宮崎
7/24 (木)	9:05～ 9:30 9:30～10:00 10:00～11:00 11:00～11:10	受付(25) 開会行事(30) 全体講演(60) 諸連絡(10)		【全体会会場】 メディキット県民文化センター (演劇ホール)
	小 学 校 部 会		中 学 校 部 会	【小学校部会会場】 部会講演：演劇ホール 分 科 会：宮崎大学教育学部 附属小学校 【中学校部会会場】 部会講演：演劇ホール 分 科 会：宮崎大学教育学部 附属中学校 【高等学校部会会場】 部会講演：イベントホール 分 科 会：宮崎県立宮崎大宮高等学校
	11:20～12:30 小中合同部会講演(70)		11:10～11:30 移動 11:30～12:30 部会講演(60)	
	12:30～13:40 移動・昼食(70) 13:40～16:50 分科会(190) 発表 40×4 16:50 終了	12:30～13:40 移動・昼食(70) 13:40～16:30 分科会(170) 発表 50×3 16:30 終了	12:30～13:40 移動・昼食(70) 13:40～16:00 分科会(140) 発表 40×3 16:00 終了	
7/25 (金)	8:30～ 9:00 受付(30) 9:00～ 9:45 公開授業①(45) 10:00～10:45 公開授業②(45) 11:00～12:00 授業研究(60) 12:10 終了	9:00～ 9:30 受付(30) 9:30～10:20 公開授業(50) 10:30～11:20 授業研究(50) 11:35 終了	9:00～ 9:30 受付(30) 9:30～10:20 公開授業(50) 10:30～11:20 授業研究(50) 11:35 終了	【小学校部会会場】 宮崎大学教育学部附属小学校 【中学校部会会場】 宮崎大学教育学部附属中学校 【高等学校部会会場】 宮崎県立宮崎大宮高等学校

※高専・大学部会は両日とも高校部会に合流してください。

☆小学校部会

部会研究主題 「ひなた」で深く学ぶ算数教育

7月 24 木	部会講演	会場：メディキット県民文化センター 演劇ホール	11:20～12:30
	公開授業	第5学年「単位量当たりの大きさ」	
	盛山 隆雄 氏（筑波大学附属小学校）		
	分科会	会場：宮崎大学教育学部附属小学校	13:40～16:50

分科会	発表題目	発表者	所属	発表県	指導助言者
1. 教育課程	『学びの文脈が見える算数科の授業づくり』 ～1枚の「算数ロードマップ」づくりを通して～	渡邊 陽太	唐津市立呼子小学校	佐賀	和田 信哉 (鹿児島大学)
	『楽しく学び、高め合う児童の育成』 ～算数科における対話的な学習を中心として～	白濱 陽平	佐世保市立黒髪小学校	長崎	
	『数学的見方・考え方を働かせて主体的に学ぶ児童の育成』 ～子どもたちに委ねる授業づくりを通して～	宮城 翔太	八重瀬町立東風平小学校	沖縄	杉 昌樹 (宮崎県教育庁 教育政策課)
	『自ら学びに向う児童の育成』 ～学習課題を自分事として捉えさせるための指導の工夫～	兒玉 拳太	都城市立今町小学校	宮崎	
	『主体的に「式を読み直す」児童を育てる授業づくりの一考察』 ～第4学年「式と計算の順序」におけるラーニング・マウンテンの自己評価の側面に着目して～	立石 耕一	佐賀市立若楠小学校	佐賀	森 力 (琉球大学)
2. 学習指導法と評価	『学びに向かう力を促進する教師の役割とは』 ～子どもの姿を基に内容や単元を組織と再組織化する～	津川 郷兵	熊本大学教育学部附属小学校	熊本	
	『「個別最適な学び」と「協同的な学び」の一体的な充実を図る授業デザイン』 ～主体的・対話的で深い学びの実現を目指して～	大久保 佑貴	鹿児島市立吉野東小学校	鹿児島	大竹 進太郎 (宮崎県教育庁 義務教育課)
	『多様なアイディアを引き出す算数科の授業づくり』 ～児童同士のコミュニケーションを通して～	高口 章子	小林市立南小学校	宮崎	
	『子どもが生き生きと学ぶ算数科学習』 ～フリータイムと振り返りリンピックを位置づけた授業づくり～	鶴木 明日香	福岡市立室見小学校	福岡	吉井 貴寿 (熊本大学)
	『主体的・協働的に学ぶ子供の姿を目指して』 ～わくわく単元デザイン・わいわい対話活動を取り入れた授業づくり～	岩本 亜紀子	宇土市立宇土小学校	熊本	
3. 数と計算	『統合的に考察する児童の育成』 ～計算カードとStarBoard電子黒板を活用した数学的活動を通して～	屋嘉比 理	嘉手納町立屋良小学校	沖縄	原田 俊彦 (宮崎県教育庁 義務教育課)
	『数学的な見方・考え方を働かせ、言葉に着目しながら思考・判断・表現する児童の育成』 ～「ひなたの学び」から共に学び、伝え合う学習を通して～	岩切 友穂	延岡市立川島小学校	宮崎	
	『「はてな？」から始まる！深く学ぶ算数科学習』 ～仮説生成型研究～	安河内 健二	北九州市立門司中央小学校	福岡	川寄 道広 (大分大学)
	『立体図形を認識する力を高め、数学的な見方・考え方を育む授業の創造』 ～第5学年 L字型の立体複合図形の体積を求める学習を通して～	田北 晃子	別府市立山の手小学校	大分	
	『自ら図形を考察し、表現しようとする子供の育成』 「学びに向かう力を育成するための『ひなたの学び』の在り方」 ～図形領域における自由進度学習の実践を通して～	峯元 将行	いちき串木野市立串木野小学校	鹿児島	増田 邦明 (中部教育事務所 教育推進課)
4. 図形	『量についての感覚を豊かにするための算数科授業』 ～「ジュース屋さんごっこ」を通して～	熊川 聡	国富町立八代小学校	宮崎	
	『1年生から「長さ」の量感の素地を育てていくための比較体験の充実』 ～算数の学習と日常生活の場面をつなげた「くらべかた」の授業を通して～	近藤 雄太	五島市立緑丘小学校	長崎	宮内 香織 (長崎大学)
	『関数の考えを豊かに働かせながら問題を解決しようとする子どもの育成』	上野 由香	大分市立金池小学校	大分	
	『学び合う力を育成する授業の在り方』 ～「問い」の果たせ方と「学び合い」の指導を通して～	嶋田 彩那	鹿児島市立西紫原小学校	鹿児島	上西 憲太郎 (北部教育事務所 教育推進課)
	『自ら「わかった」「できた」を実感する算数科学習』 ～数学的な見方・考え方を働かせる学習展開を通して～	釋迦堂 俊介	日南市立吾田小学校	宮崎	
5. 測定変化と関係	『データやその分析結果を活用しながら、妥当性を検討し、思考を続ける児童の育成』 ～統計的探究プロセスを取り入れた単元構成を通して～	橋本 裕志	新宮町立新宮東小学校	福岡	大林 将呉 (佐賀大学)
	『「データ」で考える、よりよい学校づくり』 ～委員会活動における統計的な問題解決活動の実践～	浜辺 智之	神崎市立千代田西部小学校	佐賀	
	『ひなたの学びで深く学ぶ算数科学習指導法』 ～平均の学習を通して～	仲里 翼	浦添市立当山小学校	沖縄	渡邊 耕二 (宮崎国際大学)
	『主体的な学びで「わかる」「できる」喜びを感じる児童の育成』 ～算数科における協働的な学び合いを通して～	落合 理紗	西都市立三納小学校	宮崎	
	『「主体的・対話的で深い学び」を実現する算数科授業の創造』 ～効果的な「対話」活動の組織～	村田 大輔	島原市立第二小学校	長崎	今井 一仁 (福岡教育大学)
6. データの活用	『自ら学び続ける児童を目指した算数科における問題解決学習』	鷲海 圭佑	大分市立明野北小学校	大分	
	『問題解決の力』を高めるための算数科学習 ～ ひなたの学びを生かした算数科の授業改善を通して ～	高本 晃希	阿蘇市立一の宮小学校	熊本	中武 光一郎 (教育研修センター 学習研修課)
		福重 未来	日向市立富高小学校	宮崎	

7月 25 金	会場：宮崎大学教育学部附属小学校	受付/8:30～	◎各学年2本、計12本の公開授業
---------------	------------------	----------	------------------

学年	氏 名 (所属)	単元名	助言者	学年	氏 名 (所属)	単元名	助言者
1 年	松浦 悟史 (宮崎市立東大宮小)	かたちづくり	杉 昌樹 (宮崎県教育庁 教育政策課)	4 年	植野 大郎 (日南市立鉄肥小)	垂直・平行と四角形	中武 光一郎 (教育研修センター 学習研修課)
	宮島 彰子 (延岡市立岡富小)	なんなんなんているのかな	今井 一仁 (福岡教育大学)		中西 英 (宮崎市立小戸小)	がい数とその計算	森 力 (琉球大学)
2 年	野邊 怜香 (宮崎市立高岡小)	かけ算(1)	大竹 進太郎 (宮崎県教育庁 義務教育課)	5 年	肥後 裕二郎 (都城市立五十市小)	面積	大林 将呉 (佐賀大学)
	淵上 奈津子 (延岡市立南方小)	分数	原田 俊彦 (宮崎県教育庁 義務教育課)		能勢 優子 (宮崎市立住吉南小)	合同な図形	川寄 道広 (大分大学)
3 年	河野 和寿 (宮崎市立宮崎東小)	たし算とひき算の筆算	吉井 貴寿 (熊本大学)	6 年	上森 翔太 (都城市立五十市小)	場合を順序よく整理して	宮内 香織 (長崎大学)
	下石 暢彦 (都城市立南小)	たし算とひき算の筆算	和田 信哉 (鹿児島大学)		桑原 麻里 (宮崎市立江平小)	円の面積	増田 邦明 (中部教育事務所 教育推進課)

☆中学校部会

部会研究主題 「ひなたの学び」を実現する数学教育

7月24木	部会講演	会場：メディキット県民文化センター 演劇ホール	11：20～12：30
	公開授業	第5学年「単位量当たりの大きさ」 盛山 隆雄 氏 （筑波大学附属小学校）	
	分科会	会場：宮崎大学教育学部附属中学校	13：40～16：30

分科会	発表題目	発表者	所属	発表県	指導助言者
1. 教育課程	『確かな学力を身につけ、主体的・対話的に課題解決に向かう生徒の育成』 ～「個別最適な学び」を取り入れた授業の工夫改善を通して～	辻 由加利	栗国村立栗国小中学校	沖縄	清水 紀宏 (福岡教育大学)
	『自ら数理を創造する子どもたちをはぐむ数学科学学習指導の研究』 ～問題の焦点化を明確にした学習活動を通して～	加藤 晋也	福岡市立舞鶴中学校	福岡	
	『子どもたちが主役の授業の実現を目指して』 ～「わ・さ・び」を意識した授業の工夫～	宮里 聖	都城市立小松原中学校	宮崎	加藤 恭子 (宮崎県教育庁)
2. 学習指導法と評価	『主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善』 ～端末の効果的な「普段使い」を通して～	有田 大海	天草市立本渡東中学校	熊本	山下 佳子 (長崎大学)
	対話的で深い学びの促進を実現する数学教育 ～「対話を通しての問題解決」・「評価や評価問題の共有」～	武内 英明	杵築市立杵築中学校	大分	
	「図形分野等における主体的に学習に取り組むための指導法」 ～ 生徒の実態に合わせた教材・形態の選択と問題提示の工夫を通して ～	中村 美菜	小林市立須木中学校	宮崎	今 隆助 (宮崎大学)
3. 数と式	『数学のよさを実感させる授業の工夫』 ～数と式の領域を通して～	三原 慎一朗	みやき町立北茂安中学校	佐賀	米田 重和 (佐賀大学)
	『自ら考え意欲をもって学ぶ生徒の育成』 ～平方根トランプを活用した授業構成の工夫を通して～	江藤 寛朗	宇佐市立駅川中学校	大分	
	生徒が主役になる「数学の授業」の確立 ～生徒自身が成長を感じることのできる授業を目指して～	石川 拓弥	都城市立祝吉中学校	宮崎	山口 尚哉 (宮崎大学)
4. 図形	『自ら学びに向かう生徒の育成』 ～3つの授業プロセスを通して～	中尾 亮	みやき町立中原中学校	佐賀	吉村 昇 (熊本大学)
	主体的・対話的で深い学びの授業づくり ～図形領域を通して個々に最適な学びを重視した授業改善と充実～	辻田 瑞穂	新上五島町立若松中学校	長崎	
	『図形の領域における主体的に学べる多様な学びの実現』 ～自由進度学習を通して～	白石 伊吹	高鍋町立高鍋東中学校	宮崎	向江 頼士 (宮崎大学)
5. 関数	『関数領域における思考力・判断力・表現力を育む授業の工夫』 ～「生徒同士のコミュニケーション」と「ICT活用」の実践を通して～	砂川 若菜	宮古島市鏡原中学校	沖縄	河村 真由美 (大分大学)
	『数学を使って問題の解決を図ろうとする生徒の育成』 ～事象を数値化する過程を重視した関数領域での授業づくりを通して～	船山 英朗	熊本大学教育学部附属中学校	熊本	
	『「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善』 ～知識構成型ジグソー法を活用した協調学習を通して～	藤川 比呂美	延岡市立西階中学校	宮崎	平山 浩之 (宮崎大学)
6. データの活用	『データを批判的に考察・判断し、根拠を明らかにして説明する力の育成』	山口 銀志郎	佐世保市立鹿町中学校	長崎	山口 武志 (鹿児島大学)
	非認知能力を高める指導法の工夫・改善 ～「データの活用」領域を通じた知識・技能を習得させる個別最適な学びと協働的な学びの工夫について～	川路 凌平	錦江町立錦江中学校	鹿児島	
	『関心をもち意欲的に学習に取り組む生徒を育成する題材の工夫』 ～データの活用の領域における身の回りの題材を通して～	吉田 義一	門川町立門川中学校	宮崎	飯田 雅人 (宮崎大学)
7. 数学的な考え方	『数学的な見方・考え方を発揮し、数学的に考える資質・能力を育む数学教育の創造』	村瀬 聖二	宗像市立河東中学校	福岡	松本 直己 (琉球大学)
	思考力・判断力・表現力を高める授業の実践について ～「学習者主体の授業づくり」を通して～	竹迫 翔吾	鹿児島市立谷山中学校	鹿児島	
	データの活用分野における『数学的な見方・考え方』を働かせるための指導方法の工夫 ～根拠をもとに伝え合う活動を通して～	矢田部 修	串間市立串間中学校	宮崎	添田 佳伸 (宮崎大学)

7月25金	会場：宮崎大学教育学部附属中学校	受付/9：00～	◎各学年2本、計6本の公開授業
-------	------------------	----------	-----------------

学年	氏 名 (所属)	領域	助言者	助言者
1 年	今村 雄紀 (久峰中学校)	図形	松本 直己 (琉球大学)	向江 頼士 (宮崎大学)
	山下 雄太郎 (宮崎西高附属中学校)	関数	河村 真由美 (大分大学)	米田 重和 (佐賀大学)
2 年	河野 貴俊 (生目台中学校)	データの活用	山口 武志 (鹿児島大学)	飯田 雅人 (宮崎大学)
	矢野 雄大 (宮崎大学附属中学校)	図形	吉村 昇 (熊本大学)	添田 佳伸 (宮崎大学)
3 年	日高 康雄 (清武中学校)	数と式	米田 重和 (佐賀大学)	山口 尚哉 (宮崎大学)
	堂山 侑輝 (生目中学校)	関数	清水 紀宏 (福岡教育大学)	平山 浩之 (宮崎大学)

☆高等学校部会

部会研究主題 「ひなた」で伸ばす数学教育

7月24木	部会講演	会場：メディキット県民文化センター イベントホール	11：20～12：30			
	部会講演	演題 「教室の外にも、授業は届く——YouTube × 数学 × 学校現場の挑戦」				
	11：15～	宇佐見 天替 氏 （PASSLABO代表）				
	分科会	会場：宮崎県立宮崎大宮高等学校	13：40～16：00			
分科会	発表題目		発表者	所属	発表県	指導助言者
1. 教育課程	総合学科における学校設定科目設定の取組み		魚形 敏志	大分県立日田三隈高等学校	大分	愛甲 正 (鹿児島大学)
	クロスカリキュラムにおける数学科の指導について		福島 靖幸	熊本県立鹿本商工高等学校	熊本	
2. 学習指導法と評価	幅広い学力層への挑戦（生徒たちの数学の学習に対する主体的取組を向上させるには）		隅田 智之	大分県立大分工業高等学校	大分	加藤 本子 (琉球大学)
	『自分の解法を要約して、数学力をアップさせよう』 ～試行錯誤を通して、解法の最適化を図る～		中村 陽一	宮崎県立宮崎南高等学校	宮崎	
	『授業と評価の一本化』～数学的活動を充実させる取り組み～		塚田 一久	宮崎県立小林高等学校	宮崎	
3. 学習指導法と評価	主体的で深い学びに導くために （目の前の生徒に合った指導や支援を考える）		森 一郎	鹿児島県立徳之島高等学校	鹿児島	中川 幸久 (長崎大学)
	「新課程指導に向けた指導法・事例の共有・研究について」 ～お悩み掲示板と教科会の活用～		川添 博昭	宮崎県立妻高等学校	宮崎	
	『数学における「言語活動」の充実』～主体的・対話的で深い学びに向けた取り組み～		小川 敬弘	宮崎県立延岡高等学校	宮崎	
4. 学習指導法と評価	『基礎学力向上のための指導実践について』 (小テストの取り組みをとおして基礎学力の定着を図る)		阿部 史	佐賀県立唐津南高等学校	佐賀	橋永 貴弘 (佐賀大学)
	数学への学習意欲向上のための取り組み		岩元 賢一	八代白百合学園高等学校	熊本	
	『ICTを活用した授業実践』 ～Googleサイト等を活用した授業外での学習支援～		田中 胤巳	宮崎県立福島高等学校	宮崎	
5. 学習指導法と評価	GIGAスクール構想に基づく動画配信コンテンツの活用の成果と課題		波津久 雄平	佐賀学園高等学校	佐賀	榎原 幸二 (熊本大学)
	『「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業実践』 ～追求したくなる「問い」の設定やペア・グループ学習を通して～		中村 千草	沖縄県立那覇国際高等学校	沖縄	
	『学習補助教材（動画）を使った学習』		金丸 乃聖	宮崎県立日南振徳高等学校	宮崎	
6. 学習指導法と評価	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実をマネジメントする上で、 業務拡大にならないようなアイディアの提案		樺島 寛	熊本県立熊本西高等学校	熊本	岩田 耕司 (福岡教育大学)
	「振り返りシート」の活用について ～復習と課題意識の向上のために～		井元 玲央	長崎県立口加高等学校	長崎	
	『授業改善と評価の一本化を目指して』		大塚 涼	宮崎県立日向高等学校	宮崎	
7. 数学ⅠA・ 数学ⅡBC	『生きて働く知識・技能の習得から数学的な思考力の育成へ』 （問題設定の工夫による「探究的な授業」を通して（第1学年））		大城 良	沖縄県立那覇国際高等学校	沖縄	小林 俊介 (宮崎大学)
	二次関数の「数学的探究」により創造性の基礎を育む工夫 ～生成AIやICTの活用とブルーム・タキシノミーを通して（第1学年）～		田口 清陽	沖縄県立向陽高等学校	沖縄	
	統計的な推測の学習をいっ行うか（他単元との効果的な連携を考える）		井上 喜道	大分県立中津南高等学校	大分	
8. 大学入試・ 自由研究	ICTを活用した受験指導について ～1人1台学習者用端末を用いた入試問題の解説と本時のまとめ～		與那覇 和之	福岡県立福岡高等学校	福岡	大野 貴雄 (大分大学)
	自由作問からの気づきと実践		木之下 孝輝	学校法人川島学園れいめい高等学校	鹿児島	
	数学的に見ること、問いを生み出す ～主体的・対話的な学びの場としての数学探究の可能性～		樫本 英人	長崎県立長崎東中学校・高等学校	長崎	
9. 大学入試・ 自由研究	「高校数学を研究して、解ける問題を増やそう」 ～井の中の蛙高校の数学を知らず～		砂田 淳一	福岡県立ひびき高等学校	福岡	出原 浩史 (宮崎大学)
	令和7年度大学入学共通テスト数学ⅡBCにおける問題選択に関する考察 （本校生徒の3年次マーク模試と共通テストにおける選択状況の分析）		山口 潤一郎	鹿児島県立出水高等学校	鹿児島	
	思考力育成に向けての取り組み（別解を考えさせる）		吉本 大樹	長崎県立佐世保北高等学校	長崎	
10. 大学入 試・自由研究	『AIで変わる数学教育の未来』 ～ ChatGPTがもたらす個別指導と対話型学習の新時代 ～		新井 大裕	福岡県立筑紫丘高等学校	福岡	梅原 守道 (宮崎大学)
	『フィボナッチ数列を題材にしたデザイン構築を楽しむリベラルアーツ』		椿松 祐介	鹿児島工業高等専門学校	鹿児島	
7月25金	会場：宮崎県立宮崎大宮高等学校		受付/9：00～		◎計6本の公開授業	

7月25金	会場:宮崎県立宮崎大宮高等学校	受付/9:00～	◎計6本の公開授業
-------	-----------------	----------	-----------

学年	氏 名	題材名	助言者	助言者
1年	宮本 紘一郎 (宮崎南高等学校)	数学Ⅰ 2次関数 課題学習	岩田 耕司 (福岡教育大学)	梅元 和宏 (宮崎県立日南高等学校)
2年	増田 芳美 (宮崎工業高等学校)	数学Ⅱ 複素数と方程式 数学C 平面上のベクトル	加藤 本子 (琉球大学)	宮崎 真司 (宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校)
2年	丸尾 和博 (宮崎商業高等学校)	数学Ⅰ データの分析 仮説検定の考え方	中川 幸久 (長崎大学)	大野 貴雄 (大分大学)
2年	丸山 一高 (宮崎北高等学校)	数学Ⅱ 三角関数 三角関数の合成	橋永 貴弘 (佐賀大学)	小林 俊介 (宮崎大学)
3年	代永 祐一郎 (宮崎大宮高等学校)	数学C ベクトル 角の2等分線	榎原 幸二 (熊本大学)	出原 浩史 (宮崎大学)
3年	黒田 俊一郎 (宮崎西高等学校)	数学Ⅲ 積分 斜軸まわりの回転体の体積	愛甲 正 (鹿児島大学)	梅原 守道 (宮崎大学)

全体講演

演題 「日本茶の魅力再発見 ～日本茶の知られざる魅力に迫る～」

講師 久保 裕 氏（有限会社 宮崎美老園 代表取締役）

【経歴】

宮崎県茶商連合会理事（～ 2023）、日本茶インストラクター宮崎県支部事務局長・副支部長（2011～2021）、中国茶インストラクター九州支部長等を歴任、現在宮崎山形屋会幹事長。

様々なお茶セミナーを開催し、お茶の正しい理解と普及に努めると共に、子供達の「お茶の美味しい淹れ方コンテスト（T-1 グランプリ）」において長年審査員・審査員長を務める。

他にも県立宮崎農業大学校、南九州大学で非常勤講師を務めたり、小中高の生徒 PTA 保護者向けのセミナーの講師を務めるかわら「お茶を楽しむ」をテーマにテレビ・ラジオなどにも多数出演。

私たちの身近にあるお茶の「知られざる魅力に迫る」をテーマに、お茶の美味しい淹れ方はもちろんのこと、歴史や文化、健康に役立つお茶のことについて、宮崎市生目南公民館、青島地区交流センター、他に生涯学習講座講師の依頼を受けセミナーを開催、講師を務める。

【資格や免許等】

日本茶シニア・インストラクター（令和 7 年 4 月 1 日第一期生として認定。現在全国 5373 名いる日本茶インストラクターの中でも 100 名だけ。）、中国茶インストラクター、紅茶コーディネーターや中国政府認定国家資格である中国茶評茶員・中国茶藝師資格を有する。

【その他】

県立宮崎西高等学校、宮崎大宮高等学校においてそれぞれ 4 年間と 2 年間 PTA 会長を歴任。その間、宮崎県高等学校 PTA 連合会会長、九州地区高等学校 PTA 連合会会長、全国高等学校 PTA 連合会理事も歴任。



部会講演

小学校・中学校合同部会

演題 公開授業 第5学年「単位量当たりの大きさ」

講師 盛山 隆雄 氏（筑波大学附属小学校教諭 兼 筑波大学非常勤講師 兼 玉川大学非常勤講師）

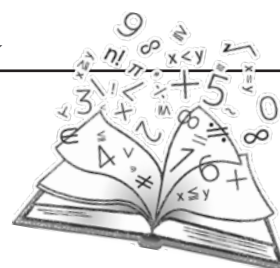
【プロフィール】

鳥取県生まれ。学習院初等科の教諭を経て、筑波大学附属小学校教諭。併せて、筑波大学非常勤講師、玉川大学非常勤講師。

志の算数教育研究会代表。全国算数授業研究会会長。[JEES] 特定非営利活動法人全国初等教育研究会理事。教育出版「小学校算数教科書」編集委員。東洋館出版社「算数授業研究」編集委員。日本数学会教育学会編集部常任幹事。

【著 書】

「思考と表現を深める算数の発問 新規の発問と問い返し発問で子どもが気づき考える！」（東洋館）、「盛山流算数授業のつくり方 8 のモデルと 24 の事例 思考力を伸ばし子どもを夢中にさせる授業を目指して」（光文書院）ほか著書多数。



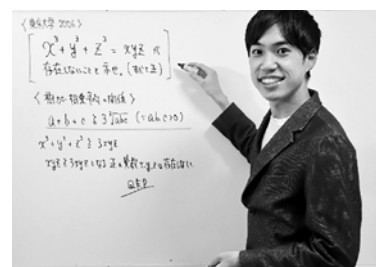
高等学校部会

演題 「教室の外にも、授業は届く——YouTube × 数学 × 学校現場の挑戦」

講師 宇佐見 天^{すばる} 氏（PASSLABO 代表）

【プロフィール】

香川県立高松高校という公立高校から現役で東京大学理科二類へ進学。高校は最下位入学であったが、戦略を立てた勉強により見事東大に現役合格。進学振り分けで TOP10 に入り、東京大学医学部医学科へ進学。現在は「地方と都会の教育格差を是正する」という理念のもと、YouTube チャンネル「PASSLABO」を中心として大学受験に関する情報・戦略を全国へ届けている。著書に「最強の勉強法（二見書房）」「一生に一度は解きたい至高の数学良問 28」などがある。



3. 大会参加申込 次ページ「大会について I. 参加申込について」参照

4. 大会参加費 5,000円

5. アクセス

ニューウェルシティ宮崎

JR 宮崎駅東口より徒歩 3 分

メディキット県民文化センター

宮崎交通バス 「文化公園」行き 終点「文化公園」下車 JR 日豊本線 「宮崎駅」からタクシー約 10 分

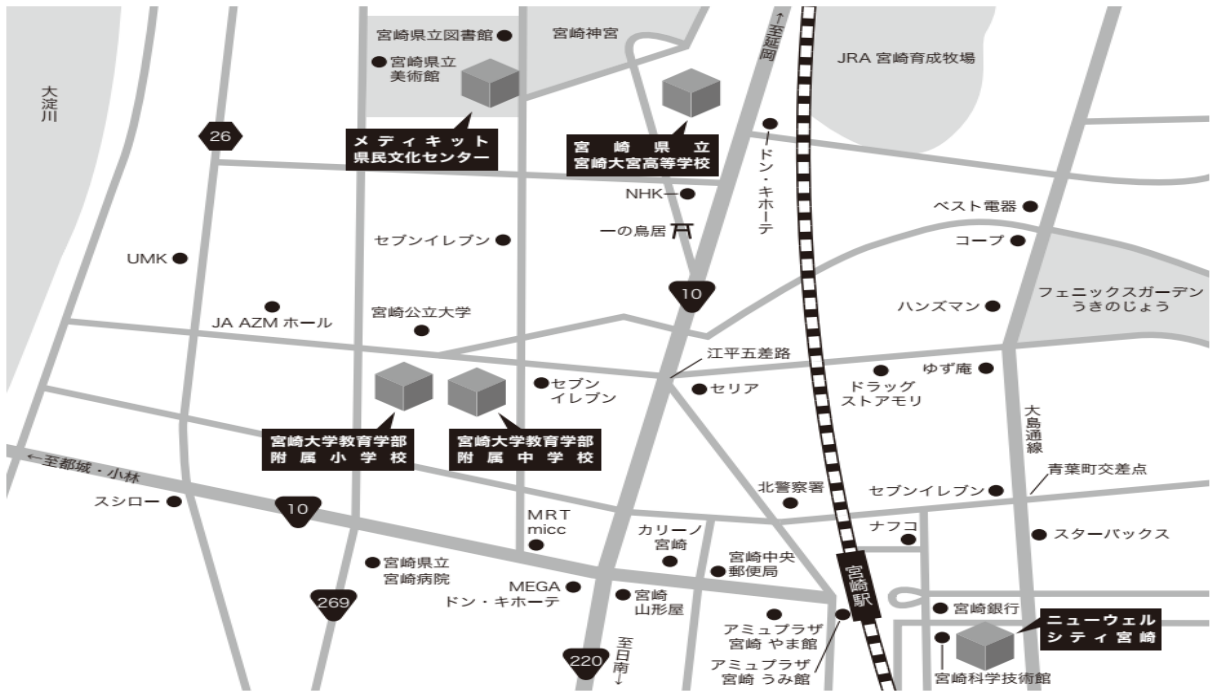
宮崎大学附属小学校・中学校

宮崎駅より徒歩 21 分 宮崎交通バス「平和台」行き「花殿町」下車

宮崎県立宮崎大宮高等学校

宮崎駅より徒歩 25 分／日豊本線 宮崎神宮駅より徒歩 10 分

宮崎交通バス「宮崎神宮」行き 「大宮高校前」 下車



各会場	住 所	連 絡 先
ニューウェルシティ宮崎	宮崎市宮崎駅東1-2-8	0985-23-3311
メディキット県民文化センター	宮崎市船塚3-210	0985-28-3216
宮崎大学教育学部附属小学校	宮崎市花殿町7-49	0985-24-6706
宮崎大学教育学部附属中学校	宮崎市花殿町7-67	0985-25-1122
宮崎県立宮崎大宮高等学校	宮崎市神宮東1-3-10	0985-22-5191

事務局		代表	住 所	連 絡 先
大会本部	宮崎県立宮崎西高等学校	関屋文智	宮崎市大塚町柳ヶ迫3975-2	0985-48-1021
小学校	宮崎大学教育学部附属小学校	前田貴宏	宮崎市花殿町7-49	0985-24-6706
中学校	宮崎市立宮崎中学校	柳田裕持	宮崎市永楽町43	0985-24-3380
高等学校	宮崎県立宮崎大宮高等学校	黒田正人	宮崎市神宮東1-3-10	0985-22-5191

第79回九州算数・数学教育研究（宮崎）大会について

I. 参加申込について

第79回九州数学教育会総会並びに九州算数・数学教育研究（宮崎）大会

申込特設サイトよりお申し込みください。

お申込みページ

URL : https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=7604416004675137&EventCode=P765177719

申込受付期限 2025年7月25日（金）



【申込用 QR コード】

こちらの QR コードからも
申込ができます。

- (1). 申込みサイトから次のいずれかの決済方法でお支払いください。
クレジットカード決済、コンビニ決済、ペイジー決済
 - (2). 大会参加費（5000 円）の納入期限は7月25日（金）になります。
早めの納入にご協力ください。
- ※ 恐縮ですが、お電話でのお申し込みはトラブルの原因になりますので、受け付けておりません。
- ※ 支払い完了メールに領収書ダウンロード用 URL が添付されます。
領収証が必要な方は、ダウンロードの上、印刷していただきますようお願いいたします。
- ※ 大会当日は、事前の参加申込がお済みでない方の当日受付も準備いたしますが、手続きにお時間を要する場合がございます。できる限り上記の要領で、事前にお申し込みください。

II. 宮崎大会事務局より諸連絡

- ※ 宿泊先の斡旋は行いません。また、お弁当の注文受付も行いません。
(24 日（木）は各分科会会場にて昼食を摂ることのできるスペースは御用意しています。)
- ※ 働き方改革による運営側の負担軽減に伴い、大会の実施にあたり皆様にご不便をおかけいたしますことをお詫び申し上げます。
- ※ 第2次案内以降の大会についての重要なお知らせは、九数教 HP にて通知いたします。

九数教 HP（公益社団法人九州数学教育会）：<http://wp.kyusukyo.org/>

- ※ 悪天候などでやむを得ず大会を中止にする場合は、大会3日前までに九数教 HP にて通知いたします。
中止の場合は研究集録を送付いたしますことで、大会参加に替えさせていただくことをご了承ください。

第79回九数教宮崎大会実行委員会事務局
宮崎県立宮崎西高等学校内 関屋 文智
〒880-0951 宮崎市大塚町柳ヶ迫 3975 番地 2
代表 Tel(0985)48-1021 Fax(0985)48-0783